

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500054
法人名	医療法人 みゆき会
事業所名	グループホーム ひおきの里
所在地	鹿児島県日置市日吉町日置407番地1 (電話) 099-246-8611
自己評価作成日	平成29年2月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URI	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は“慣れ親しんだ環境の中で、共に寄り添い共に暮らしながら、お一人お一人の人生を大切に生きるお手伝いをします”を施設理念に掲げ、平成24年3月に開設しました。

季節の行事や地域の行事に積極的に外出・参加し見当識に刺激をうながしたり、“地域”を肌で感じてもらうことを心掛けています。また自立支援を念頭に、できる事・している事を大切にしながらお一人お一人に合った支援を柔軟に行うようにしています。ただ支援を行うのではなく「こころ」の充実もはかるよう心掛けています。例えば「茶わん拭き」は作業療法的なリハビリと言うだけではなく、職員が「お願いをする」「感謝を伝える」ことで使役感も獲得できる効果が期待できるなどです。

また母体医療法人や平成28年6月に同法人内に開設した訪問看護ステーションなどと24時間医療連携体制を整えるなど入居者様の「からだ」の健康管理の面でも充実を図っています。

一緒に笑ったり、喜んだり、時には怒ったり、悲しんだり…。「共に生活を続ける」ことをモットーに、またその方々の人生の一部に関わらせていただく事を喜びとしてサービスを提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、同法人の小規模多機能ホームや母体医療機関も隣接し、訪問看護ステーションなどと24時間医療連携体制が整っており、利用者や家族の安心に繋がっている。

・町内会に加入している。食材などは地元の商店を利用し、地域行事や清掃などに積極的に参加する一方、法人の行事にも地域の人々が参加するなど日常的に交流している。代表者は地域に対する貢献度が高く、地域に根ざした医療や福祉に取り組んでいる。

・管理者や職員は自宅での暮らしに近い生活ができるように、その人らしい生活を支援している。各居室にトイレと洗面台があり、利用者の尊厳やプライバシーに配慮しながらより良いケアに努めている。

・管理者と職員間のコミュニケーションも図られ、チームワークが良く、利用者と共に生活を続けることを大切に、自らの資質向上に取り組んでいる。利用者や家族からも信頼されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各ユニットに施設理念と施設運営方針を掲示し、意識しながら実践できるよう努めている。	地域密着型サービスを踏まえた理念を、玄関や事業所内に掲示し、ネームプレートの裏やパンフレットにも掲載している。朝礼時に唱和し、申し送り時や各ユニットごとに理念の確認をしている。月1回の職員会議で振り返りを行い支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の会合や清掃作業・行事に参加し、施設の行事への招待したりボランティアの受け入れを行うなど、地域との交流を持てるよう取り組んでいる。	町内会に加入し、地域の清掃作業や草払い等に参加している。地域の行事の夏祭りや運動会・七夕祭り等で交流している。事業所の避難訓練の時は近所の方の協力がある。保育園児との交流もあり、事業所の行事には地域住民の参加がある。認知症の相談や情報を発信している。近所から野菜の差し入れもあり日頃から地域と交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員のほぼ全員が認知症サポーター養成講座を受講済みで、平成29年3月に地域と法人全体と協力して徘徊模擬訓練を実施する予定にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>偶数月毎に地域の方々や民生委員、行政やご家族様に参加していただき開催している。運営状況や活動内容に対する助言もいただける貴重な場になっている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催している。事業所の状況や活動報告・避難訓練・ヒヤリハット・認知症カフェ・外部評価の報告等を行い、参加者から意見が出され、地域にも事業所の情報を積極的に提供して欲しいとの助言に、地域と法人全体で協力して徘徊模擬訓練を計画中である。地域で作成した防災マップを運営に反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や行事への参加も頂き、事業所の活動を伝える機会になっている。困難事例を相談し、アドバイスを頂いている。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に出向き事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めアドバイスを貰っている。事業所の「里だより」を届けている。電話でも相談している。介護相談員も受け入れ、市主催の研修に積極的に参加し協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修や勉強会を通して学ぶ機会を設け、事務所に身体拘束の禁止規定を掲示し、職員で読み上げを行い身体拘束ゼロに継続して取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で、マニュアルに沿って、事例や課題に基づいた研修会や勉強会を実施し、職員の共通認識を図り、拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても気配りしている。日中の玄関は施錠せずに見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会を通して学ぶ機会を設け、事務所に高齢者虐待防止法の対象となる行為を掲示し、職員で読み上げを行い意識付けるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や勉強会に参加し学ぶ機会をもっている。認知症の方々が不利益を被る事のないよう今後も継続して取り組んでいく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書・契約書を一緒に確認しながらわかりやすく説明し、理解していただいてから同意を得るように努めている。また改定の際は事前に説明・同意をもらい契約書に署名・捺印いただくようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見箱を玄関に設置し、自由に意見や要望を記入していただけるようにしている。また管理者直通の電話でいつでも相談して頂けるようにしている。職員が受けた意見や要望は、管理者へ報告し速やかに対応できるよう取り組んでいる。	利用者からは日々の言動やケアの中で意見や要望を聞き、介護相談員の結果も参考にしている。家族からは面会や家族会・電話・アンケート・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。「里だより」で近況報告を行い、返信もある。ヨーグルトの定期購入の希望や畑の手伝い等、出された意見は運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個人面談・アンケートなどでそれぞれの意見や提案を聞く機会を設け、意欲を持って働けるよう取り組んでいる。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、ミーティングや職員会議、年2回の個人面談等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、その反映を図るよう心がけている。出された意見で訪問看護と連携して、薬の服用状況や処方を一覧にするなど、運営に反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の自己評価や面談などで個人の年間目標に対する取り組みや要望を聴く機会を設け、意欲的に働けるよう取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加を奨励しており、研修参加後や報告書と資料を回覧したり、事業所内で伝達講習を行い、職員全員で知識の共有が出来るよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所連絡協議会やケアマネ協議会、研修など同業者が集まる機会に参加し交流を持っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入院先や自宅に訪問し、本人の要望や心配事を伺い、安心して入居できるよう支援している。また、入居後の環境の変化による不安や気分の落ち込みにも配慮し、細目に声掛けし安心して生活できるよう支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入院先や自宅に訪問し、家族の要望や心配事を伺い、安心して入居できるよう支援している。また面会時に入居後の様子を伝えたり、家族の要望を伺う機会を持ち、家族と入居者様の良好な関係がけいぞっく出来るよう支援している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人のできる事・できない事を把握し、必要な支援を検討しアセスメントを基にケアプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	簡単な家事を一緒に行い、役割を持って生き生きと生活できるよう支援している。また、感謝の気持ちを伝え、次の意欲に繋がられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自宅の様子を気にされている入居者様が多いため、ご家族と連携を図り、体調をみながら短時間でも自宅へ帰る機会が持てるよう適宜支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物や散髪など、ご本人の希望される所に行くことが出来るよう支援している。馴染みの方々とおしゃべりすることで、入居者様も喜んでいる。	利用者は地元の人が多い。親戚や友人・知人の訪問の際には、状況に応じてお茶を出したりしている。馴染みの店での買い物や理美容院利用など継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で外出や外泊・墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が良好な関係を構築・継続できるよう身体状況や性格などに合わせて必要時適宜仲介を行うなどして支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もご本人やご家族からの相談などあった場合は必要な支援を行うようにしている。また看取りや他界された前後も精神的なサポートも心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人やご家族からの希望や意向を把握しつつ、ご本人との会話の中でご家族との意向に齟齬があった場合、ご家族へ懇切丁寧な説明を行い支援への理解・協力をもらうよう努めている。	入浴時などに個々人とのコミュニケーションを図り、声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族への聞き取りや、担当ケアマネージャーなどからの情報収集を行い、職員間で情報を共有できるよう取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で個別ケアについて話し合う機会を定期的に持ち、一人一人のペースでその人らしく生活できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者や計画作成者など多種職でモニタリングを行いニーズを把握した上で、QOL向上に資するようご本人やご家族と話し合う機会を設けるなどして計画を作成している。	面会の時、本人や家族の意向を聞き、主治医の意見を入れて担当者会議を開き、介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、見直しは6ヶ月毎に実施している。変化があった時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアについて職員の気づきなど個別記録に残している。また職員間の申し送りノートを作成し、情報の共有が出来るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状態や要望に応じて柔軟に対応できるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、近所の方々や民生委員さんの面会・ボランティアや自治体の相談員活動受入など地域との交流が続いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による定期的な訪問診療・体調不良時の往診、または適宜他の医療機関の受診などご本人やご家族の希望で健康管理が出来るよう支援している。	かかりつけ医は本人や家族の希望で、ほとんど協力医療機関が主治医となっている。協力医療機関からの2週間に1回の訪問診療や歯科の往診も受け入れている。週1回の訪問看護師の訪問で健康管理などの連携も図り、適切な医療が受けられるよう支援している。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけの医療機関や、同法人内の訪問看護ステーションと24時間連携がとれる体制を確保しており、定期外でも看護職員に相談したり、指示や助言を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は申し送りノートや口頭で情報共有を行い、医療機関と連携が図れるようにしている。入院中も情報交換を行い、ご本人やご家族が安心して入院加療が出来るよう支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入院時だけではなく、定期的に今後のケアや緊急時の対応、終末期についてなど話し合う機会を持ち同意を得るようにしている。ご本人やご家族の気持ちに変化があった時には変更できる旨も併せて説明している。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は医師や職員が連携を取り、意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応についてはマニュアルに沿って対応できるようにしている。また勉強会を開催し慌てずに対応できるよう取り組んでいる。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練を実施している。ご家族や地域の方々、入居者様にも参加いただき、いざと言う時に安全に避難できるよう取り組んでいる。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定での避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、運営推進会議参加者や地域住民も一緒に訓練を行っている。防災設備の定期的な点検もしている。緊急連絡網に町内会長を登録し協力体制が整っている。災害時の水や米・缶詰等の備蓄もある。非常食をリュックに詰めたり、防災頭巾も用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩として、敬意を持って接するよう心掛けている。プライバシーへの配慮も気を付けている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。トイレ誘導や入浴は同性介助や羞恥心に配慮して、さりげない誘導を行っている。入室の際は声かけやノックをするなど、気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の思いを日常生活の中でさりげなく伺いつつ、ご自身で選択していただけるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご自分のペースで過ごして頂けるよう支援している。生活のリズムを整えながら、廃用症候群予防に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お気に入りの服を着たり、お化粧をしたりご本人の望まれることが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>楽しく食事が摂れるような環境づくりに努め、嗜好や嚥下の状態も考慮した食事提供に努めている。おやつ作りを一緒に行ったり、片付け等への参加を促すなどしている。</p>	<p>楽しく食事がとれるように、嗜好を把握して利用者が食べやすい形態で提供している。旬の野菜を地元の商店で仕入れたり、近所の方や家族からの差し入れがある。玉葱の皮むきや茶碗拭き等、職員と一緒にしている。誕生月には、ケーキでのお祝い、弁当持参での花見、お正月のおせち料理など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>各ユニットの献立作成担当者が指示食の有無を把握し、栄養バランスのとれた献立を合同で作成し、食事量や水分摂取量など記録し健康管理に役立てている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>入居者様の状態に合わせた口腔ケアの支援を実施している。必要時口腔内の状態を確認したり義歯の管理を行いながら誤嚥性肺炎予防を行っている。必要時歯科受診の支援も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を行い、入居者様毎の排泄パターンの把握に努めるとともになるべく紙おむつに頼らない且つ自尊心に配慮した支援を心掛けている。	チェックシートを活用して、排泄パターンを把握している。各居室にトイレがあり、時間をみてプライバシーに配慮しながら声かけしている。リハビリの効果で立位できる利用者が多く、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	各ユニットで排便チェック表を作製し排便の有無の把握をしている。食事や水分の摂取状態の状態と合わせ支援に役立てている。身体を動かす機会を定期的に設けたり、必要時かかりつけ医に報告や相談を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴する時間帯も含め、ご本人の意向になるべく添うようにしており、自立支援を念頭におきながら必要な清潔支援に努めている。	入浴は基本的に週3回であるが、利用者の体調や希望にそって柔軟に対応している。シャンプー類は個々人の要望により使用し、入浴剤を使うなど、入浴を楽しめるように支援している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整など職員間で連携して状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の体調や習慣に応じて柔軟に支援している。また昼夜逆転にならないよう昼間の活動も含め良質な睡眠がとれるようトータルで観察・支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医や看護師、薬剤師と連携し薬情の把握に努め、禁忌や副作用なども考慮しながら観察を行い、適宜医療機関へ報告・相談できる体制をとっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	簡単な家事や手伝いを行っていただいたり、季節に応じた行事や地域との関わりの中で使役感や喜びを感じていただけるよう、また気分転換が図れるような支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域と協力しながら出かけられるように支援している。	天候やご本人の体調を考慮しながら散歩や外出を兼ねた買い物などを計画・実施している。また地域の行事やドライブ・花見なども計画し実施している。	日常的には周辺の散歩や外気浴をしながらお茶飲みを楽しんだり、希望で買い物に出かけたりしている。年間計画を立て、地域行事や初詣・ソーメン流し・ドライブ・花見などに出かけている。家族の参加もある。家族の協力で外出や外食・墓参などの際に支援している。特殊車両で車椅子対応の外出も楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>要望に応じて所持金を金庫で保管している。また生活用品や適宜嗜好品等ご本人の希望に応じて使用できる体制をとり、ご家族へは毎月収支報告を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時は電話ができる体制をとっている。また携帯電話を所有されているご利用者については操作などの支援もおこなっており、郵便や宅配便のやり取りも支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の清掃を毎日且つ適宜行い清潔な環境を提供している。季節の花を飾ったり、ご本人と一緒に壁面飾りを毎月作成し季節を感じていただけるよう工夫している。</p>	<p>共用空間は、広々として大きな窓があり天井も高く採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。ユニット間の往来も自由である。壁には行事の時の写真や季節感を大事にした飾りつけがされ、花が飾ってある。歩行訓練器具やマッサージ機も置かれ、気軽に利用できるようになっていいる。ソファも多くあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中にもソファや椅子を配置し、思い思いに使用できるような環境を提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際はご本人やご家族と話し合いを十分に行い、可能な限り使い慣れた家具の使用を受け入れ居心地良く過ごせる環境づくりに努めている。</p>	<p>居室はトイレと洗面台・押し入れ・ベッドが設置されている。寝具や家具・遺影・写真・手作りの作品等、使いなれた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全に生活できるよう環境を整え、わかりやすい案内や目印をつけたり、身体や精神状態、環境などの設備も考慮して安全且つ自立した生活が送れるよう職員間で意見を出し合い工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない